

総合研究院

アグリ・バイオ工学研究部門

公開セミナーのお知らせ

(1) 日時 7月10日(火曜日) 15:30:~16:30

(2) 場所 講義棟 601 教室

(3) セミナーの内容について

近年、農作物の生産現場では害虫の殺虫剤抵抗性が深刻な問題となっている。特に、難防除害虫として国内外で猛威をふるうアザミウマ類は高度な殺虫剤抵抗性を発達させており、その防除は困難を極めている。アザミウマ類は寄主範囲が広く、多くの野菜類から花き、果樹類まで、その経済被害は甚大である。さらに、植物ウイルスの媒介虫でもあることから、ひとたび大型施設園芸などにアザミウマ類が侵入すると壊滅的な被害に至ってしまう。そこで我々は、アザミウマ類を対象とし、殺すのではなく、行動を制することを目的とした忌避剤の開発、並びに、忌避剤を用いた革新的な行動制御体系の開発を目指している。我々はこれまでに、植物体内でジャスモン酸の働きが高まるとアザミウマ類に対して忌避効果を発揮し、一方、サリチル酸の働きが高まるとアザミウマ類を誘引することを明らかにしてきた。この技術を農作物に適応できるように進化発展させ、さらに栽培圃場で活用できるよう作物の生産工程に組み入れた体系を構築することができれば、安定的なアザミウマ類の被害制御が可能となる。本セミナーにおいては、上記の背景のもとに現在進めているアザミウマ忌避剤開発の現状について紹介すると共に、植物防御に関わるアザミウマ誘引あるいは忌避のメカニズムについて植物代謝物の視点からも言及したい。

招待講演

時間 : 15:30~16:30

演題 : 「アザミウマと植物の生物間相互作用とその応用」

講師 : 安部洋 研究員(理化学研究所バイオリソース研究センター)

場所 : 講義棟 601 教室

世話人 基礎工学研究科
生物学専攻
有村 源一郎